

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	<p>1. 個別ケア 一人一人が歩いてこられた人生への理解と共感に基づき、笑顔と生きがいと役割を持ち続けられるように、自立支援を基盤としたケアを行います。</p> <p>2. 認知症ケア 認知症の正しい理解に基づき、一人の「人」としての尊厳を大切にして、その人らしく安心して過ごせる居場所と関わりを提供します。</p> <p>3. 看取りケア 穏やかな日々の暮らしの場で安らかな旅立ちを迎えられるように、さまざまな職種のスタッフが協力して、利用者様とご家族様に寄り添い支えます。</p> <p>4. 地域ケア 住み慣れた地域で安心して最期まで生活が送れるように、法人内外の組織や地域住民の方々との連携を図り支援します。</p>
事業所名	あったかほ一む御嶽堂	管理者	佐野 康平		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	1人	2人	1人	人	3人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>① 定期的に、職員で改善計画の確認、評価を行い意識統一をしていく。</p> <p>② 職員間における情報伝達の方法を改善し、即時かつ効果的な支援に繋げる。</p> <p>③ ご家族様との連携、職員とのコミュニケーションを密に行い支援方法を統一する。</p>	<p>・定期的に職員間で改善計画を確認することができなかった。</p> <p>・情報共有の方法を改善し、変化のあった利用者様に対してすぐに行動を起こすことができた。</p> <p>・以前よりもご家族との連絡をこまめに行い、その過程を職員間で情報共有し支援方法を統一することができた。</p>	<p>・スタッフ全員で事業所の自己評価に取り組まれていることが確認できた。</p> <p>・活動報告を読ませていただき、多様な取り組みをしていることが拝見できた。</p> <p>・事故報告について、利用者の方が安心して利用できるように対策を検討してください。</p>	<p>① 事故が発生した際は当日に職員間で発生状況と対応策の共有を行う。当日休みだった職員にも報告書等で情報共有を行い、対応策の有効性を検証し必要に応じて別の対応策を講じる。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>① 接遇・マナーに関して研修など学びの機会を増やし、職員の接遇教育をおこなう。</p> <p>② 皆が安心して過ごしやすいよう日々環境整備を行う。</p>	<p>・接遇・マナーに関しての学びの場を増やすことはできなかったが、定期的に職員会議で議題にすることにより、意識できるようになった。</p> <p>・環境整備チェック表を用いて確実に環境整備を行うことができた。</p>	<p>・いつ行っても丁寧に対応していただき、とても安心できました。</p> <p>・父も安心して、楽しい時間を過ごせているようで感謝しています。</p>	<p>① 人としての尊厳を大切にしたい関わり方が常にできるよう、環境整備と接遇教育を行っていく。</p> <p>② 職員自身も環境の一部であることを理解し、身だしなみや言葉遣いに気をつける。</p>

C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ① ブログや広報誌での自洋書の情報発信を継続して行う。 ② コロナ感染状況をみながら事業所の見学会を実施する。 ③ 介護相談会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、ブログの更新を行うことできた。 ・事業所の見学会、介護相談会はコロナの影響もあり実施することができなかったため、来年度は是非開催したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・御嶽堂通信では利用者の方に生活を楽しんでいただく工夫がみられて良いと思います。 ・御嶽堂通信から様々な活動や季節を感じられる飾り付けなど行事を楽しんでいる様子が伝わった。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業所の見学会を開催する。 ② ブログや広報誌での情報発信を継続して行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域の活動に積極的に参加をしていく。 ② 利用者様の取り巻く地域資源の把握と理解を深め、連携していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により、地域の活動に参加することができなかった。 ・地域資源を活用することで、実際にどういった地域資源があるのか理解することができた。また、しっかりと連携することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ということもあり、地域交流は難しかったと思うが広報誌等で施設の活動状況を確認することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域行事に積極的に参加をしていく。 ② 利用者以外の地域の心配な方にも事業所として関わりを持つ。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 運営推進会議で出された意見を事業所展開に反映させる。 ② 困難事例など地域の方の意見を聞きながら事例検討を行い解決していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により、対面での運営推進会議が開催できず、意見をいただくことが難しかった。 ・困難事例の検討など、事業所内での話し合いが多くなってしまったため、来年度は地域の方々の意見をいただきながら検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染警戒レベルもなかなか下がらない中、会議の開催方法の検討を含め色々ご尽力いただきありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域に溶け込んだ事業所になるよう、地域の心配な方などの事例検討を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ① 自治会と事業所の防災計画を共有し、災害時の避難支援について打ち合わせを行う。 ② 運営推進会議メンバーとご近所の方に防災訓練への参加をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練は実施したが、コロナの影響でご近所の方の参加をお願いすることが難しく、事業所内での開催になってしまった。 ・事業所の防災計画を地域で共有することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に意見無し。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業所の防災計画を共有し、災害時の避難支援について打ち合わせを行う。 ② 運営推進会議メンバーとご近所の方に防災訓練への参加をお願いします。